

羽生田小は こんな 学校です！

羽生田小って
どんなところ
なのかな。

実際
どんな感じ
なのかしら？

羽生田小では、ひとりひとりを
大切に、きめ細かい指導を
行っています。

先生一人に対して
児童は3〜8人。



だから、先生はよくわかっていきます。

〇〇ちゃんは、まだ
わり算が二カテだな。
□□ちゃんはどうだ？

△△くんは
ほぼ理解できている。
先にすすめるかな？

何が、その子に
必要か。

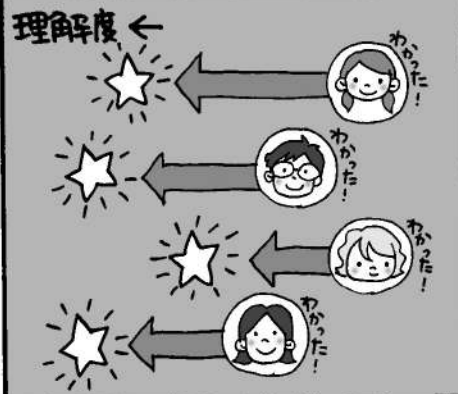
じゃあ、
ここは、こうやって
考えてみたら
どうかな？

△△くんは
今のやり方を
□□ちゃんに
説明してあげて。
できるかな？

その子が、今
するべきことは何か。



その結果、ひとりひとりが
それぞれの力を伸ばすことが
できます。



ふだんの生活の中でも、
先生の目は、すみずみまで
行き届きます。

〇〇ちゃん
何かあった
のかな？

もう体育おわったの？

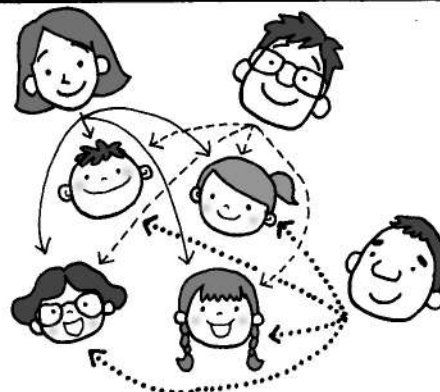
こどもの変化を
見逃さず



××くんは...ボールを
ぶつけちゃって...
わざとじゃ...
...ないのに...

そっか そっか。
すばやく 対応して
くれます。

だから、子どもたちは無意識に
「先生たちが、自分をみてくれて
いる。」という安心感の中で
生活しています。



さらに羽生田小では、学年を
こえて、いっしょに様々な
活動をします。



たとえば給食当番も、
このわんぱく班で行います。



異年齢で協力する中で

大きい子は小さい子を気づかい

小さい子は大きい子を信頼し
尊敬します。



だから遊ぶ時も、自然に、
あたりまえに関わり合っ
ています。

役にたってるよ。

かわいがられてるよ。



そんな環境の中で、子どもたちの中に育つのは

「自信」や「自己肯定感」です。

先生が気にかけてくれる自分
先生が見てくれる自分
やさしくしてもらえる自分
かわいがってもらえる自分

信頼される自分
立派に役に立つ自分

価値ある存在。



他にうまれない自分。

さらに子どもたちはみんな自分の仕事を持ち

責任を果たすことを学びます。



帰りの会では、全校児童の前で順番に一人ずつスピーチ!



一年生もがんばります。

みんな緊張しますが人前に出ることに慣れていきます。



そして三十年の伝統がある「全校合奏」



一年生から六年生まで、全員でひとつの音楽をつくりあげます。

小さい子はけんぼんハモニカですが、かなり音楽的な要求をされます。



先生も児童も、「県大会出場」を目標に、本当に真剣にとりくんでいます。



先生「じしゅれん」してもいいですか?

じゃあ、先生が来る前に一回あわせませう。



みんなが目標に向かって心をひとつにがんばるこの活動は...



音楽を感じる豊かな心

全体の中で自分に役割があることを知る

自分の役割を果たす責任

積極的にとりくむ自主性

みんなで協力することの大切さ

なしたげた時の大きな達成感

多くのものを、子どもたちにもたらしてくれます。

羽生田小出身の子は

は！やります。



役割をひきつけること、人前に出ることに慣れているので



それがそのまま、中学校生活にも活かされている様子です。



壬生中学校に入るといきなり人数がふえるので、羽生田小の子は萎縮してしまうのでは?と、思われがちですが、むしろ、その逆で



みんな いきいきと中学校生活を送っています。

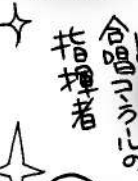
生徒会の役員



部活動の部長



運動会の応援団長



行事の実行委員



委員会



合唱コンクールの指揮者



合唱コンクールの伴奏

始業式の生徒代表

作文発表表

羽生田小学校では、こんなふうに子どもたちを育てています。